

55:16 私が神を呼ぶと【主】は私を救ってくださる。

55:17 タベに朝にまた真昼に私は嘆きうめく。すると主は私の声を聞いてくださる。

55:18 主は私のたましいを敵の挑戦から平和のうちに贖い出してください。私と争う者が多いから。

55:19 神は聞き彼らを苦しめられる。昔から御座に着いておられる方は。セウ彼らは改めず神を恐れぬ。

55:20 彼は親しい者にまで手を伸ばし自分の誓約を犯している。

55:21 その口はよどみなく語るが心には戦いがある。そのことばは油よりも滑らかだがそれは抜き身の剣である。

55:22 あなたの重荷を【主】にゆだねよ。主があなたを支えてくださる。主は決して正しい者が揺るがされるようにはなさない。

55:23 しかし神よあなたは彼らを滅びの穴に落とされます。人の血を流す者どもと欺く者どもは日数の半ばも生きられないでしょう。しかし私はあなたに拠り頼みます。

ダビデは、「私が、神を呼ぶと、主は私を救ってくださる。」と信仰の告白をしています。しがし多くの場合、苦しみの現実の中では葛藤があるということも事実でしょう。神に背く人々が幸せそうに生きているように見えるということです。

そこでダビデは神の權威のもとに生きる全人類についても、信仰の告白をしています。主に従わない人の行く末についてです。「彼は、自分の親しい者にまで手を伸ばし、自分の誓約を犯している。」というような者は、結局「神よ。あなたは彼らを、滅びの穴に落とされます。」というようなことになるのです。

これは事実であるとともに、ダビデの自分自身の決心への励ましともとれそうです。自分はどんなに苦しくてもあのようににはならないぞという決心です。

信仰の反面教師をさばく必要はありませんが、それらの事例から警戒を与えられましょう。そして自分自身は主の恵で強められ、できることなら主から離れた人々が立ち帰るための力になりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

